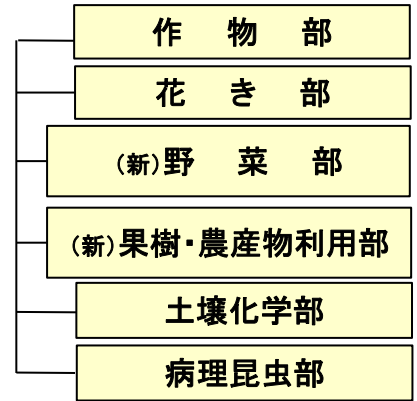


# 岐阜県農業技術センターニュース No.38

## 部の組織改編で新体制へ！

平成30年度より、野菜・果樹部を組織改編し、野菜部と果樹・農産物利用部を新設しました。

- 野菜部では、以下の研究開発を実施します。
  - ・トマトの生産性向上に関する研究
  - ・イチゴの品種育成、栽培技術確立に関する研究
  - ・加工業務用野菜の安定生産に関する研究
- 果樹・農産物利用部では、以下の研究開発を実施します。
  - ・カキの品種育成、特徴ある果実の商品化に関する研究
  - ・管理作業の省力化のための樹形改善に関する研究
  - ・亜熱帯果樹の本県における栽培の可能性に関する研究

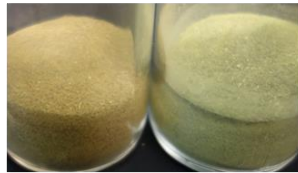


## 果樹・農産物利用部 ～新たな展開へ～

農産物利用分門では、  
 1)加工業務用品種や規格外品を用いて製菓等に利用可能な素材化に関する研究  
 に加えて、本年から新たに開始する重点課題として、  
 2)茶や当センターで育成したカキ「ねおスイート」、イチゴ「華かがり」のブランド化のための品質保持技術の開発に取り組みます。

### 茶及び県育成品種のブランド化推進のための品質保持技術の開発

#### 【茶】



普通煎茶(粉末茶)左:褐変

#### 普通茶の消費低迷

粉末茶の利用増加  
 紅茶加工等の増加

酸化による褐変  
 低い保存性  
 成分等の特徴が不明

- 県産茶の特性把握による消費宣伝
- 保存性向上による利用拡大
- 新規素材化と商品開発

#### ねおスイートブランド化

知名度向上(要流通期間の延長)  
 下位等級品の市場隔離

#### 規格外品の有効活用

加工時期が集中

- 貯蔵技術開発(年内流通)
- カットフルーツ化(可販率、一般消費者認知度アップ)
- 素材化の加速



#### 【イチゴ】



#### 華かがりの販路開拓

市場出荷以外の販路が乏しい  
 贈答品需要に未対応  
 日持ちしない

- ギフト対応貯蔵技術の開発  
 ↓  
 輸出・ネット販売等に販路拡大し、高級感をアップ

# カキの樹幹害虫対策について「手引書」を作成しました（病理昆虫部）

カキの樹幹害虫（ヒメコスカシバとフタモンマダラメイガ）の防除対策についてまとめた「樹幹害虫対策の手引き」を作成しました。

- ヒメコスカシバは、カキの栽培期間を通して被害を起こすため、樹幹害虫としての重要度が高い。
  - 樹幹害虫の被害を安定的に抑制するには、交信攪乱剤と殺虫剤散布を組み合わせた体系防除が良い。
- など、防除のポイントを解説していますので、是非ご活用ください。



## 岐阜県技術職員『清流の国ぎふ』現場見学ツアーを受け入れました



12月25日と2月20日の2回、将来岐阜県職員になろうと希望する大学生や高校生を対象とした見学ツアーが開催され、会場の1つとなった農業技術センターで試験研究の概要や岐阜県農政部のガイダンスを行いました。



## 人事異動（平成30年4月1日付）

よろしく申し上げます。

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
玉腰 博幸	総務課係長	揖斐県事務所	野々村 奈緒美	学校支援課	総務課係長
松尾 尚典	野菜部長	飛騨農林事務所	今西 美江子	森林文化アカデミー	総務課主査
新川 猛	果樹・農産物利用部長	（野菜果樹部）	菊井 裕人	岐阜農林事務所	野菜果樹部専門 研究員
安田 雅晴	野菜部主任専門研究員	農業経営課	鈴木 郁子	岐阜農林事務所	土壌化学部専門 研究員
小枝 剛	花き部専門研究員	西濃農林事務所	野田 佳宏	都市公園課	作物部研究員
近藤 俊文	野菜部専門研究員	（野菜果樹部）	吉田 佳奈	統計課	総務課主事 （育休）
前田 健	野菜部専門研究員	（野菜果樹部）			
鈴木 哲也	果樹・農産物利用部専門研究員	（野菜果樹部）			
神谷 仁	果樹・農産物利用部専門研究員	（作物部）			
小川 幹夫	土壌化学部専門研究員	畜産研究所			
伊藤 由衣	主事	文化財保護センター			
吉田 健吾	作物部研究員	西濃農林事務所			
小田 桃子	野菜部研究員	（野菜果樹部）			
杉浦 真由	果樹・農産物利用部研究員	（野菜果樹部）			
那須 大輔	野菜部農業技手	（野菜果樹部）			
山中 博貴	野菜部農業技手	（野菜果樹部）			
不破 崇公	野菜部農業技手	（花き部）			
島倉 知樹	果樹・農産物利用部農業技手	（野菜果樹部）			
小林 拓之	花き部農業技手	新規採用			
高橋 宏基	作物部技術課長補佐	（再任用）			